

平成22年度 青森県聴覚障害者情報センターの管理運営状況

県所管課	健康福祉部障害福祉課
指定管理者	社団法人 青森県ろうあ協会 会長 谷崎 利巳
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
聴覚障害者用の録画物の製作及び聴覚障害者の利用に供する業務	情報番組の自主製作、CS障害者統一放送機構「目で聴くテレビ」の番組製作及び字幕入りビデオ等の貸出し・閲覧に供した。
手話通訳者、要約筆記者等の養成を行う業務	国のカリキュラムに沿って、手話通訳者、要約筆記者等を養成するための講習会を開催した。
聴覚障害者に対する各種の相談、指導訓練、情報提供等を行う業務	聴覚障害者の生活・職業等各種相談を行うほか、手話講習会等の指導訓練、情報機器の貸出し・施設の開放により情報提供を行った。
施設及び設備等の維持管理に関する業務	法令等に則り、日々又は定期的に清掃及び各種設備の保守管理を行い、適切に施設及び設備等の維持管理を行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用人数 (人)	H19	—	5,903	—	141.1%
	H20	4,500	5,338	118.6%	90.4%
	H21	4,500	6,317	140.4%	118.3%
	H22	5,000	6,373	127.5%	100.9%
字幕入りビデオテープ貸出数 (件)	H19	—	604	—	79.3%
	H20	770	385	50.0%	63.7%
	H21	360	386	107.2%	100.3%
	H22	400	159	39.8%	41.2%
手話通訳者養成講座の受講者数 (人)	H19	10～20	14	140.0%	107.7%
	H20	基本課程 20 応用課程 5	基本課程 23 応用課程 8	115.0% 160.0%	164.3% 60.9%
	H21	基本課程 10 応用課程 5	基本課程 14 応用課程 8	140.0% 160.0%	60.9% 107.1%
	H22	基本課程 10 応用課程 5	基本課程 15 応用課程 2	150.0% 40.0%	107.1% 25.0%
要約筆記者養成講座の受講者数 (人)	H19	10～20	43	430.0%	187.0%
	H20	基礎課程 20 応用課程 5	基礎課程 6 応用課程 3	30.0% 60.0%	14.0% 83.3%
	H21	基礎課程 10 応用課程 5	基礎課程 5 応用課程 3	50.0% 60.0%	83.3% 200.0%
	H22	基礎課程 10 応用課程 5	基礎課程 10 応用課程 4	100.0% 80.0%	200.0% 133.3%

【増減理由】

- ・利用人数：きめ細やかな対応の結果、施設見学依頼が増えてきている。
- ・字幕ビデオ貸出数：関係機関・団体へパンフレットを配布したが、地上デジタル放送において聴覚障害者に配慮した番組が増えていること及び、DVDの普及によるビデオデッキの普及率低下により、目標を大幅に下回った。
- ・手話通訳者養成講座：基本課程を2会場で開催し、受講の機会を増やしたことから、修了者数は概ね昨年度と同程度。
- ・要約筆記者養成講座：全市町村へ周知協力を依頼する等周知に努め、目標はやや下回ったが、昨年度より修了者数は増えた。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	利用者アンケートで高い評価を得ており、適正に実施しているものと認められる。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	利用者アンケートで高い評価を得られ、利用人数も多くなっており、優れた実績をあげたものと認められる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	アンケートにおいて施設の清潔さ等を評価されており、優れた実績をあげたものと認められる。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	テレビ電話を活用した情報収集体制を設ける等、優れた実績をあげたものと認められる。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	経理状況等に問題はなく、適正に執行している。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	A	きめ細やかな対応や、講習会の実施地域を広げる等、優れた実績をあげたものと認められる。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	基本協定書の「個人情報取扱特記事項」を遵守し、適正に取り組んでいる。
総合評価	A	A	センターにおける各種事業の実施及び施設の維持管理について、適正に取り組んでおり、施設利用者数等において優れた実績を上げている。

○評価基準

A（優）：適正であり、優れた実績をあげている

- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要